

令和５年度から令和８年度までの常任委員会活動 評価総括表

委員会名(予算決算常任委員会)

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

予算決算常任委員会		各委員会(理事)の評点の平均点				
番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	委員会活動の振り返り(委員会討議の結果の概要)
1	委員会審議の活性化	3.9	4.4	3.8		・今年度は、当委員会においても全員参加によるオンライン模擬委員会を開催し、オンライン委員会運営に係る知見を得ることができた。(令和5年度) ・予決の総括(的)質疑は、一般質問と違い事前通告なしでやることの意義を再度確認する必要があるのではないか。(令和5年度) ・理事会の議論を通して、債務負担行為を設定するものに新規性がある場合、該当箇所到下線を引く対応に変更したことで、分かりやすい資料となり、委員会審議の活性化にもつながった。(令和6年度)
2	年間活動計画	4.1	4	3.6		
3	重点調査項目					
4	県内外調査	－	4.2	4		・EBPMの視点を取り入れた国の政策評価の手法や他県の県民参加型予算の取組事例を学ぶことができ、有意義な県外調査となった。(令和6年度) ・県外調査では愛知県新城市において、予算の使い道を若者自らが考え、政策立案をしている「新城市若者議会」について調査し、先進的な取組を学ぶことができ、実りあるものとなった。(令和7年度)
5	当初予算に係る調査・審査	4	3.9	4.1		・原油価格・物価高騰対策に係る補正予算について迅速に審査・採決することができた。(令和5年度) ・これまで財政状況が厳しく、守りの姿勢の委員長報告が多かった中、12月の当初予算編成に係る委員長報告では、未来を拓く取組にも積極的に取り組むよう言及したことで、これまでとは異なる視点を盛り込むことができた。(令和6年度) ・分科会を含め、決算や当初予算、補正予算について十分な調査・審査を行い、委員長報告として、議会の意見を執行部に伝えることができた。特に、補正予算については、物価高騰対策など、迅速かつ適切に審査・採決することができた。(令和7年度)
6	総合計画に係る調査・審査	4.2	4.1	4.1		・県政レポートの調査を踏まえ、予算決算の立場から、「人口減少」に関して、各地域に住み続けられるよう地域の実情を十分に踏まえた対策の推進を申し入れるとともに、「財政運営」に関して、県民の安全安心のためのインフラ整備といった将来を見据えた投資の検討等を知事へ申し入れた結果、若者の定着に向けた取組等に反映されるなど、実りのあるものとなった。(令和5年度) ・県政レポートの調査を踏まえ、人材確保対策に関して申入れを行ったところ、当初予算において人材確保対策に係る予算が重点的に配分された点や申入れ事項である県職員の人材確保・育成の視点が県の取組に反映されたことから、実りあるものとなった。(令和6年度)
7	個別の行政計画に係る調査・審査					

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	評価の視点(自由記載抜粋)
1	参考人制度等の活用	－	－	－		
2	請願への対応					

*評価は5点満点です。(5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、2点「あまりでなかった」「例年よりもでなかった」「やや不満足」、1点「ほとんどでなかった」「不満足」)

令和５年度から令和８年度までの常任委員会活動 評価総括表

委員会名(総務地域連携交通常任委員会)

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

総務地域連携デジタル社会推進 常任委員会		各委員会(理事)の評点の平均点				
番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	委員会活動の振り返り(委員会討議の結果の概要)
1	委員会審議の活性化	4	3.6	4.1		・委員が様々な意見を出すとともに執行部への質問も活発にでき、委員間討議はしっかりできた。(令和5年度) ・地域公共交通の維持・確保について、みえ高校生県議会の意見や所管事項調査を踏まえ、委員会で活発な議論を行い、県政レポートの知事申入れや委員長報告を通して、執行部に対し要望を行うことができた。(令和6年度) ・みえ高校生県議会を通して高校生から意見をいただけたことは良かったが、高校生に限らず大学生など様々な方から話を聴く機会があると良い。(令和6年度) ・1月19日には臨時に常任委員会を開催し、三重県における外国籍職員の採用について質疑を行い、委員長報告を取りまとめた。このように、必要に応じて常任委員会を既定の開催日以外にも開催し、委員会審議を活性化することができた。(令和7年度) ・「みえ現場de県議会」において出された意見などについても、常任委員会の中で取り上げられた点が良かった。(令和7年度)
2	年間活動計画	4.4	4.1	4		・参考人制度を活用できれば良かったという課題は残るものの、当初の予定どおり年間の活動を進めることができた。(令和5年度)
3	重点調査項目	4.5	3.7	4.1		
4	県内外調査	4.8	3.7	4.3		・県内外調査は、重点調査項目に沿って調査し、委員会の議論に反映できたことは良かった。(令和5年度) ・8月の県外調査が台風により延期となり、その後の再スケジュール調整が難航し、結果的に1泊2日の県外調査となったことから、あらかじめ予備日を設け調整できれば良かった。(令和6年度) ・県内調査では、移住者や地域おこし協力隊員の現場の声を聞く貴重な機会となった。また、昨年3月に提出された木曽岬町議会からの意見書を踏まえ、木曽岬町議会との意見交換や干拓地の現地視察を行い、その実態把握ができたことから、実りある調査となった。(令和6年度) ・津波警報の影響により県内調査の一部が延期となり、御浜町については改めてオンラインで調査を実施したが、オンラインでの実施に不慣れであったためか、少し内容が薄かったような印象を持った。このため、双方がオンラインを活用した会議の仕方に慣れていく必要があると感じた。(令和7年度) ・県外調査は非常に参考となり、県に提案していくべき事柄について、知見として共通の認識を持つことができた。また、岡山県における地籍調査の推進に関する調査では、例えば、土地改良事業などの測量成果を地籍調査の成果として活用する取組などを知ることができ、良いヒントを得られた。(令和7年度)
5	当初予算に係る調査・審査	4	4	4.1		・県政レポートの調査において委員会から意見を申し入れた結果、地籍調査について要求額どおりの予算がついたのは、防災の観点から良かった。(令和5年度) ・熊野古道世界遺産登録20周年に向けての取組については、委員長報告として執行部に対し要望を行い、予算等に反映されたのは良かった。(令和5年度)
6	総合計画に係る調査・審査	3.9	3.9	4.3		・県政レポートの調査において委員会から意見を申し入れた結果、地籍調査について要求額どおりの予算がついたのは、防災の観点から良かった。(令和5年度・再掲)
7	個別の行政計画に係る調査・審査	3.9	3.6	4		・熊野古道世界遺産登録20周年に向けての取組については、委員長報告として執行部に対し要望を行い、予算等に反映されたのは良かった。(令和5年度・再掲)

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	評価の視点(自由記載抜粋)
1	参考人制度等の活用	—	—	—		
2	請願への対応	4.5	3.9	4.4		

* 評価は5点満点です。(5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、 4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、 3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、 2点「あまりでなかった」「例年よりもでなかった」「やや不満足」、 1点「ほとんどでなかった」「不満足」)

令和５年度から令和８年度までの常任委員会活動 評価総括表

委員会名（政策企画雇用経済観光常任委員会）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

戦略企画雇用経済常任委員会		各委員会(理事)の評点の平均点				
番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	委員会活動の振り返り(委員会討議の結果の概要)
1	委員会審議の活性化	4.3	4.8	4.6		・正副委員長の取り計らいにより議論のポイントがしっかりと絞られていた。(令和5年度) ・「上半期の振り返り」で示された課題を、下半期に引き継いで検討等することができた。(令和5年度) ・工業研究所の視察を有志にて実現した。(令和5年度) ・様々な課題に対して議論を行い、委員長報告として執行部に対し要望を行い、予算等に反映されたのは良かった。(令和6年度)
2	年間活動計画	4.5	4.1	4.4		
3	重点調査項目	4.5	4.4	4.8		・県外調査では、課題となっている先端技術や再生可能エネルギーなど、重点項目に沿った調査をし、当初予算等の議論において調査結果を踏まえた意見をすることができた。(令和5年度)
4	県内外調査	4.6	4.6	4.8		・県外調査では、課題となっている先端技術や再生可能エネルギーなど、重点項目に沿った調査をし、当初予算等の議論において調査結果を踏まえた意見をすることができた。(令和5年度・再掲) ・県外調査については、当初の予定が変更となったが、日程調整を行うことで大阪・関西万博をはじめとした取組の調査ができ、いよいよ始まる万博に向けた取組の充実に向けての委員会での発言につながった。(令和6年度) ・県内調査については、ブルーカーボンの活用に向けた取組について、実際の研究状況を調査して手応えを掴んだ中で、将来期待が持てる取組として、大きく視野を広げることができた。(令和6年度)
5	当初予算に係る調査・審査	4.6	4.3	4.3		・県外調査では、課題となっている先端技術や再生可能エネルギーなど、重点項目に沿った調査をし、当初予算等の議論において調査結果を踏まえた意見をすることができた。(令和5年度・再掲) ・様々な課題に対して議論を行い、委員長報告として執行部に対し要望を行い、予算等に反映されたのは良かった。(令和6年度・再掲)
6	総合計画に係る調査・審査	4.1	4.5	4.4		・県政レポートについて活発に討議し、人口減少対策や雇用・観光施策に対する意見等を知事に申し入れた。(令和5年度) ・県政レポートの調査においては、委員間でしっかりと議論したうえで知事に申し入れ、執行部より前に進む回答があった。(令和7年度)
7	個別の行政計画に係る調査・審査	4.4	3.9	4.3		・「三重県人口減少対策方針」や「三重県教育施策大綱(案)」について、委員会で慎重に審議・討議をした内容が反映された。(令和5年度) ・歴史文化等地域資源を生かした観光が実現するよう、今後も継続して取り組んでほしい。(令和5年度) ・太陽光発電施設設置の規制強化について委員長報告を行い、ガイドラインの改定につながるなど、かなり進んだと感じた。(令和7年度) ・大阪・関西万博について、委員間でも情報を共有するなどし、充実した議論を行うことができた。(令和7年度) ・観光について、次期神宮式年遷宮を見据えた議論を行うとともに、半導体産業に関しては、様々な施設を訪問するなど、大変よかった。(令和7年度)

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	評価の視点(自由記載抜粋)
1	参考人制度等の活用	4.8	4.8	—		・スタートアップやコロナ禍で大変厳しい状況にあった観光産業の課題について、参考人招致によって理解が相当進み、議論に活かすことができた。(令和5年度) ・みえ高校生県議会での高校生からの質問、提言について、委員間討議を行い、参考人招致を行うことを決定したことは、これまでの取扱いと比較しても画期的な取組で良かった。(令和6年度) ・参考人招致を行い、これからの観光を考えたときに、どこの地域でもバリアフリー観光が必要であることを調査でき、また、それが観光振興に係る県内調査の内容ともリンクしていた良かった。(令和6年度)
2	請願への対応		4.1	4.9		・「県独自の日本酒産業振興施策の強化等」を求める請願を採択し、酒米価格高騰対策などの支援につなげた。(令和7年度)

* 評価は5点満点です。(5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、 4点「通常よりも良くてきた」「例年よりも良くてきた」「概ね満足」、 3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、 2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、 1点「ほとんどできなかった」「不満足」)

令和５年度から令和８年度までの常任委員会活動 評価総括表

委員会名（環境生活農林水産常任委員会）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

環境生活農林水産常任委員会		各委員会（理事）の評点の平均点				
番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	委員会活動の振り返り（委員会討議の結果の概要）
1	委員会審議の活性化	4.6	4.4	4.4		・有志で実施した政務活動による議員視察は、その後の委員会での審査・調査に十分生かすことができ、委員会審議の活性化につながった。（令和5年度） ・委員会で活発に議論を行い、委員長報告など執行部に要望することで、各行政計画に反映することができた。（令和5年度）
2	年間活動計画	4.5	4.1	4.3		・年間活動計画については、計画どおり進めることができた。（令和5年度） ・年間活動計画や重点調査項目に沿って、十分な意見交換や調査をすることができた。（令和6年度）
3	重点調査項目	4.6	4.1	4.4		
4	県内外調査	4.5	3.8	4.6		・県内外調査については、重点調査項目を中心に、それぞれ時期にかなった深い調査をすることができた。（令和5年度） ・台風の影響で県外調査を実施できなかったことは残念だが、県内調査は非常に有意義な調査をすることができた。（令和6年度） ・県内調査について、乾田直播等、後の所管事項調査において説明される事項を先行的に調査できたことは内容を理解するうえで役に立った。（令和7年度） ・県内外調査について、調査先の選定も適切であり、知識がない分野について広く学びを得られ、先進的な取組事例についても調査することができた。（令和7年度）
5	当初予算に係る調査・審査	4.6	4.4	4.5		
6	総合計画に係る調査・審査	3.9	4.1	4.3		
7	個別の行政計画に係る調査・審査	4.5	4.1	4.4		・委員会で活発に議論を行い、委員長報告など執行部に要望することで、各行政計画に反映することができた。（令和5年度・再掲） ・「三重の森林づくり基本計画」等の各行政計画の見直しについて、しっかりと議論や調査をすることができた。（令和6年度） ・「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例」及び同条例に基づく基本計画の改正について、委員長報告を行い、県内農業生産の拡大と食料自給率の向上を目指す内容とすることなどを要望することができた。改正は令和7年度に延期されることとなったが、要望内容が反映される方向となったことは良かった。（令和6年度） ・「三重県自転車安全利用条例（仮称）」について、委員長報告を行い、特定小型原動機付自転車も対象となる方向性で検討が進められるようになったことは良かった。（令和7年度） ・「三重県食を担う農業の振興及び農村の活性化に関する条例」の改正について、県内農業生産の拡大と食料自給率の向上等、委員会において要望した事項が改正内容に反映されたことは良かった。（令和7年度）

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	評価の視点（自由記載抜粋）
1	参考人制度等の活用	—	—	—		
2	請願への対応	4.3	3.9	4.3		

＊評価は5点満点です。（5点「ほぼ完璧」にできた」「十分満足」、 4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、 3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、 2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、 1点「ほとんどできなかった」「不満足」）

令和５年度から令和８年度までの常任委員会活動 評価総括表

委員会名（医療保健子ども福祉病院常任委員会）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

医療保健子ども福祉病院 常任委員会		各委員会(理事)の評点の平均点				
番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	委員会活動の振り返り(委員会討議の結果の概要)
1	委員会審議の活性化	4.3	4.4	4.4		・委員会審議について、各委員が課題意識を持ちながら、積極的な審議を行うことができた。(令和5年度) ・条例改正案や計画案の多数の提出が予定されるなど、当委員会の所管となる課題の多い県政事情を反映し、幅広い重点調査項目を設定したが、特に調査をして議論を深める必要のある課題の事前抽出、複数の部局をまたぐ課題に対する関係部局職員の委員会出席依頼、6名の参考人招致等、活発な議論を促す方策を検討し実践した。(令和6年度) ・病院における面会制限が続いていることの問題提起を行い、委員会における県内外調査も実施し、執行部における調査、委員長報告への反映などにつなげ、これらの委員会活動を行った結果、県内において、現状に合わせた面会条件の緩和がなされたという報告を聞くようになり、県民のニーズに合った成果が出た。(令和7年度)
2	年間活動計画	4.3	4.1	4.5		
3	重点調査項目	4.5	4.1	4.5		・重点調査項目について、喫緊の課題を中心に選定し、それに沿った県内外調査の実施や県内外調査を踏まえた質疑等が行われ、非常に活発な調査・審査を行うことができた。(令和5年度) ・重点調査項目の一つ「認知症対策」の調査がやや十分ではなかったが、能登半島地震被災地の支援活動に係る適時報告等、災害医療の体制整備等については時機を適切に捉えて調査をし議論を深めることができた。(令和6年度)
4	県内外調査	4.6	4.4	4.5		・ゲーム・ネット依存治療に取り組む医療機関等、今後県内で一層の取組が求められる分野における先進事例の調査をするなど、県内外調査の機会を有効に活用した。(令和6年度) ・それぞれの重点調査項目に沿って充実した県内外調査が実施でき、総合福祉施設のモデル事例を通じた介護人材の不足への対策に係る調査など、参考になる調査が実施できた。(令和7年度)
5	当初予算に係る調査・審査	4.3	4	4		
6	総合計画に係る調査・審査	4.3	4	4.3		・県政レポートに係る知事への申し入れが新年度の予算案にも反映されるなど、県政全体に関わる議論ができた点がよかった。(令和7年度)
7	個別の行政計画に係る調査・審査	4.1	4.4	3.8		・児童相談所が関与していた児童の死亡事例を受け、県政レポートの申し入れの場を活用して知事に対応を求めたほか、委員長報告を実施することで執行部へ早期に対応を求めることができた。(令和5年度)

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価の視点(自由記載抜粋)
1	参考人制度等の活用	－	4.9	－		
2	請願への対応	4.5	3.4	3.6		

* 評価は5点満点です。(5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、1点「ほとんどできなかった」「不満足」)

令和５年度から令和８年度までの常任委員会活動 評価総括表

委員会名（防災県土整備企業常任委員会）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

防災県土整備企業常任委員会		各委員会（理事）の評点の平均点				
番号	評価対象取組	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	委員会活動の振り返り（委員会討議の結果の概要）
１	委員会審議の活性化	４	３.９	４.６		・緊急浚渫推進事業や公共施設の耐震化の事業等、防災・減災対策の重要事業をはじめ、インフラ整備を着実に進めていくことが、県民の命を守ることにつながると調査・議論の中で実感できた。（令和５年度） ・水道料金の見直しについて、活発な議論を行うことができ、委員会審議の活性化につながった。（令和６年度）
２	年間活動計画	４.３	４.１	４.６		
３	重点調査項目	４.４	４.４	４.９		・重点調査項目に沿って、しっかりと県内外調査を実施するなど、全般的に良い委員会運営だった。（令和７年度）
４	県内外調査	４.６	４.７	５		・県内外調査については、AI水道管劣化診断など今後活用できそうな技術を勉強できたことや、現場を見て改めて気づいた課題などもあり、非常に有意義だった。（令和５年度） ・国内で災害が多く発生した１年であり、本委員会の果たす役割が大きい中、時宜を得た委員会活動や協議を行うことができて良かった。特に、県外調査で能登半島地震の被災地を現地調査できたことがその後の委員会での議論に生かすことができ、有意義だった。（令和６年度） ・県内調査では、松岡建設株式会社における建設産業活性化に関する取組や伊賀地域消防指令センターにおける消防通信指令業務の共同運用等について調査することができ、非常に勉強になった。（令和７年度） ・三重県でも大規模災害の切迫性が高まる中、県外調査で熊本県を訪れ、県防災センターにおいて、過去の災害の経験を踏まえた防災対策を調査することができ、非常に勉強になった。また、熊本地震震災ミュージアムKIOKUでは被災した建物や断層が保存されており、それら震災遺構についても現地調査することができ、非常に有意義だった。（令和７年度）
５	当初予算に係る調査・審査	４.６	４	４.４		・県政レポートの調査について、委員の意見を幅広く取り入れた申し入れを知事に対して行うことができ、また、分科会内で意見のあった、債務負担行為を設定するものに新規性がある場合の資料の工夫について、予算決算常任委員会理事会を通じて執行部に伝える等、より深い議論ができた。（令和６年度）
６	総合計画に係る調査・審査	４.７	４.１	４.３		・県政レポートについては、しっかり常任委員会として申し入れ、その後の定例会ごとに県当局から進捗状況や方向性などが報告され、最終的に次年度の予算にも反映されたことは非常によい成果となった。（令和５年度）
７	個別の行政計画に係る調査・審査	４.３	４.３	４.１		・「三重県建設産業活性化プラン２０２４」といった県の個別計画やプランの内容及びそれらに沿った取組について、委員会で積極的に議論し、しっかりと調査・審査することができた。（令和７年度）

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	評価の視点（自由記載抜粋）
１	参考人制度等の活用	－	－	－		
２	請願への対応	－	３.７			

＊評価は５点満点です。（５点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、４点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、３点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、２点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、１点「ほとんどできなかった」「不満足」）

令和５年度から令和８年度までの常任委員会活動 評価総括表

委員会名（教育警察常任委員会）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

教育警察常任委員会		各委員会（理事）の評点の平均点				
番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	委員会活動の振り返り（委員会討議の結果の概要）
1	委員会審議の活性化	4.3	4.5	4.6		・執行部においては、議決する議案の中身についての質問には速やかに対応できるようにするべきである。（令和5年度） ・委員間討議の時間での議論は少なかったかもしれないが、一つのテーマに対して、執行部も交えて関連で委員会で議論を行い、審議を深めるなど活発な委員会活動を行うことができた。（令和6年度） ・有志で委員全員が現地調査を行い、地域での高校の果たす役割が大事であることの共通認識を持ち、さらに委員会での議論につながった。（令和6年度） ・当初予算、補正予算の議論をはじめ、毎回の委員会で議論、審議が活発に行われ、1年間を通して良い委員会活動を行うことができた。（令和7年度） ・委員会活動から派生して有志で行った勉強会も大変有意義な内容だった。（令和7年度）
2	年間活動計画	4.4	4.8	4.5		・充実した内容の重点調査項目及び年間活動計画を作成することができ、これに沿って県内外調査を着実に行うことができた。（令和7年度）
3	重点調査項目	4.4	4.8	4.5		・充実した内容の重点調査項目及び年間活動計画を作成することができ、これに沿って県内外調査を着実に行うことができた。（令和7年度・再掲）
4	県内外調査	4.6	5	4.6		・県内調査で学校現場に行き、働き方改革の話などを直接聴けたことは良かった。（令和5年度） ・県内調査・県外調査を実施できたことは良かった。機会があればあるほどよいと思う。（令和5年度） ・県外調査において、埼玉県警で高いレベルのサイバー警察を調査することができ、三重県警にそれを提案することができた。（令和6年度）
5	当初予算に係る調査・審査	4	4.5	4.6		
6	総合計画に係る調査・審査	4.3	4.5	4.5		
7	個別の行政計画に係る調査・審査	4.1	4.5	4.5		・教育予算や教員不足などの課題について、しっかりと1年間委員会活動を行うことができた。（令和6年度）

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	評価の視点（自由記載抜粋）
1	参考人制度等の活用	4.6	4.7	－		・オンラインでの参考人招致は、重点調査項目に沿うものであり、大変参考になった。（令和5年度）
2	請願への対応	4	4.8	4.4		

* 評価は5点満点です。（5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、 4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、 3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、 2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、 1点「ほとんどできなかった」「不満足」）

令和5年度から令和8年度までの特別委員会活動 評価総括表

委員会名（食料自給総合対策調査特別委員会）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

外国人労働者支援調査 特別委員会		特別委員会の 評点の平均点	
番号	評価対象取組	令和5年度	委員会活動の振り返り(委員会討議の結果の概要)
1	委員会審議の活性化	4.8	・活発な委員間討議ができ、成果として国及び県に政策提言を行うなど大変有意義な委員会であった。(令和5年度)
2	年間活動計画	4.7	
3	重点調査項目	4.8	
4	県内外調査	4.7	・県内外調査については、重点調査項目に沿った内容でそれぞれの地域で活動している現地の人の意見が参考になった。(令和5年度)

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和6年度	評価の視点(自由記載抜粋)
1	参考人制度等の活用	4.8	・参考人招致も積極的に様々な分野の有識者を招致し、良い意見を聴くことができた。(令和5年度)
2	請願への対応		

* 評価は5点満点です。(5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、1点「ほとんどできなかった」「不満足」)

令和5年度から令和8年度までの特別委員会活動 評価総括表

委員会名(ワンヘルス推進調査特別委員会)

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

外国人労働者支援調査 特別委員会		特別委員会の 評点の平均点	
番号	評価対象取組	令和6年度	委員会活動の振り返り(委員会討議の結果の概要)
1	委員会審議の活性化	4.2	・大変難しく大きなテーマであり、中々つかみどころがなかったが、活発な議論ができ、また、委員会を重ねるごとに理解が進み、必要性、重要性を実感し、全国的にみても早い段階で取り組めて良かった。(令和6年度)
2	年間活動計画	4.3	
3	重点調査項目	4.4	
4	県内外調査	4.4	・現地視察が難しいテーマであるため県内調査を行えなかったことは残念だが、県外調査で先進地である福岡県の活動を視察できたことは有意義であった。(令和6年度)

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和6年度	評価の視点(自由記載抜粋)
1	参考人制度等の活用	4.9	・参考人を数多く招致し、様々な角度から専門家の話を聞くことができ、とりわけオンラインによる参考人招致を3回行えたことは、これからの時代の議会運営を考えた上でも評価できる。(令和6年度)
2	請願への対応		

* 評価は5点満点です。(5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、1点「ほとんどできなかった」「不満足」)

令和5年度から令和8年度までの特別委員会活動 評価総括表

委員会名（伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

外国人労働者支援調査 特別委員会		特別委員会の 評点の平均点	
番号	評価対象取組	令和7年度	委員会活動の振り返り(委員会討議の結果の概要)
1	委員会審議の活性化	4.9	・伊勢茶に親しむ暮らし推進条例案を策定するに当たって、非常にきめ細やかな調査・検討を行うことができて良かった。(令和7年度)
2	年間活動計画	4.9	
3	重点調査項目	4.9	
4	県内外調査	5	・特別委員会では、一回に限り、1泊2日で県外調査を行うことができることとなっているが、より充実した調査を行うため、二回以上県外調査を行うことができるようにしたほうが良いのではないか。(令和7年度)

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和7年度	評価の視点(自由記載抜粋)
1	参考人制度等の活用	5	
2	請願への対応		

* 評価は5点満点です。(5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、1点「ほとんどできなかった」「不満足」)

令和５年度から令和８年度までの特別委員会活動 評価総括表

委員会名（豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

差別解消を目指す条例検討調査 特別委員会		特別委員会の評点 の平均点	
番号	評価対象取組	令和7年度	委員会活動の振り返り（委員会討議の結果の概要）
1	委員会審議の活性化	4.9	・委員間討議がしっかりできていて、参考人招致等の調査を重ねるたびに、次の調査につなげることができ、委員会審議の活性化も図りつつ、一般的な分野から専門的な分野まで、参考人招致や県内外調査を精力的に行うことができた。県内外調査については、実際に施肥を行うタイミングに重ねて実施するなど、工夫されていて、参考になった。（令和7年度） ・多部局にまたがる議論が展開でき、特別委員会のあるべき姿を実現できた。（令和7年度） ・全国豊かな海づくり大会の開催後に向けて、三重県のあるべき姿や課題の共有を行うことができ、今後、県議会の中で議論すべき点の問題意識を持つことにつながった。（令和7年度） ・他の自治体の取組についてもう少し調査を深めるなど、隣接県等との広域の海づくりについての議論も今後行っていく必要があると感じた。（令和7年度）
2	年間活動計画	4.6	・活動計画をしっかり立てて運営した結果、充実した委員会活動ができた。（令和7年度）
3	重点調査項目	4.5	・重点調査項目の観点について、森林づくりの部分については、調査項目に含める視点はよかったが、想像を超える成果が得られなかったと感じた。（令和7年度）
4	県内外調査	4.6	

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和7年度	評価の視点（自由記載抜粋）
1	参考人制度等の活用	4.9	
2	請願への対応	4.7	・請願については、委員長報告や提言の中に願意を盛り込んで、請願の審査だけでなく、意見としてまとめられたことはよかった。（令和7年度）

* 評価は5点満点です。（5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、 4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、 3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、 2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、 1点「ほとんどできなかった」「不満足」）

令和５年度から令和８年度までの議会広聴広報活動 評価総括表

会議名（広聴広報会議）

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	広聴広報活動の振り返り（広聴広報会議での討議の結果概要）
1	広聴広報会議の開催	4.3	4.7	4.7		・広聴広報は絶えず改革を進めないといけない。改革の端緒は担えたと思うが、引き続き取り組む必要がある。（令和5年度） ・会議では、新しい視点でいろいろな提言をしたが、座長がしっかりまとめてよいものが出来上がった。（令和6年度） ・駅前で演説している人が今までは分からなかったが、実は県議会議員だったという声を直接いただくなどの反響があったことが嬉しかった。（令和6年度） ・広聴広報活動を通じ、自分たちの仕事を県民と共有することができた。（令和6年度）
2	議会広聴広報計画の策定	4.2	4.7	4.7		・広聴広報計画に基づいて十分な活動ができた。（令和7年度）
3	会議の公開	4	4.8	4.8		
4	各種媒体による広報	4	4.5	4.7		・広報紙の改革は一部の記事を横書きをするなどして一定の成果があった。また、議会のテレビ中継をもっと見ていただける仕組みを検討してほしい。（令和5年度） ・広報紙紙面の改革や、動画やネットを使った発信についても、引き続き検討してほしい。（令和5年度） ・大きな課題であった若年層の政治参加に関しては、現場de県議会や広報紙のレイアウトの検討でいろいろと取り組めた。（令和5年度） ・広報紙は、複数のデザイン案を出して内容を決めるなど、改善が進んでいる。（令和6年度） ・みえ県議会だよりの誤植に気付かず申し訳なかった。（令和6年度） ・広聴広報の活動の必要性を発信しながら充実させていきたい。（令和7年度）
5	「みえ県議会上前講座」の実施	4.5	5	4.7		・出前講座は高評価をいただいたが、このように外に出ていくことは肌感覚で分かることも多く有意義だったので、広報を工夫して回数を増やしてほしい。また、たくさんの議員に出前講座に行ってもらいたい。（令和5年度） ・みえ県議会上前講座では、初めて大学で行うことができた。（令和6年度） ・みえ現場de県議会やみえ県議会上前講座に参加する中で、どうしたら県議会が身近に感じてもらえるかなど、県民への伝え方が勉強になった。（令和6年度） ・みえ県議会上前講座の件数が大変多く、広聴広報の存在意義を示せた。（令和7年度） ・みえ県議会上前講座では小学校から大学まで、主権者教育の一端を担えたのではないかな。（令和7年度）
6	「みえ現場de県議会」の開催	4.4	4.7	4.6		・現場de県議会は高評価をいただけた。少しでも三重県議회를身近に感じていただけたと思う。（令和5年度） ・現場de県議会では、日頃接点が少ない若い世代と接することができて有意義だった。また、高齢者を対象にすることを考えてほしい。参加者は議員数より多くとるべきだと思う。（令和5年度） ・みえ現場de県議会やみえ県議会上前講座に参加する中で、どうしたら県議会が身近に感じてもらえるかなど、県民への伝え方が勉強になった。（令和6年度・再掲） ・みえ現場de県議会では、県民の方から教えてもらうことが多く、大変勉強になった。（令和7年度） ・みえ現場de県議会では、テーマ選定等しっかりとした議論があり、テーマに沿った開催地や人選も素晴らしかった。（令和7年度） ・幅広い年齢層の県民の方と交流でき、議員の活動も理解いただきながら県民の皆さんのお話が聞けたこと、今後の活動につなげていきたい。（令和7年度） ・いろいろなところに出向くことは重要で、今後も増やしていきたい。（令和7年度）
7	「みえ高校生県議会」の開催	3.7	5	4.4		・来年度は高校生県議会も開催されることもあり、県議会新聞を高校生に配布できるように取り組んでほしい。（令和5年度） ・みえ高校生県議会は、素晴らしい高校生の意見が聞けた。様々な方からご意見を伺う機会を増やしていければと思う。（令和6年度）

* 評価は5点満点です。（5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、 4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、 3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、 2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、 1点「ほとんどできなかった」「不満足」）